

会員資格ご継続（会費納付）及び手続きのご案内

世界的なパンデミック・コロナ禍及びデジタル化の推進により、テレワークを基本とした事業や業務を行っております。つきましては、皆様には何かとご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年度「会員資格ご継続（会費納付）」をお願い申し上げます。

- ・昨年より会費納付手続きが変っております。詳細は、同封の資料をご確認ください。
- ・封筒ラベル記載の会員種別と干払込票（入会申込書）記載の会員種別表を照合し、払込票（入会申込書）に、ご希望の種別をご記載のうえ、お払込み下さい。
- ・会費や寄付金の領収書は、銀行振込票とさせていただきます。
- ・銀行振込時のご注意：振込確認者が特定できない場合がございます。ご住所、氏名、電話番号等はわかりやすくご記入ください。

事務局からのご案内

- ・ご入会し活動やご支援いただける方を随時募集しています。また、会の活動支援のために、会員や寄付者のご紹介をお願い申し上げます。
- ・会員・市民の皆さまからのご意見を、今後ともお寄せください！お待ちしております。当会ホームページ (<https://zaidan-edojo.or.jp/>) のお問い合わせコーナーからも送信できます。
- ・Eメールアドレスをご登録し、セミナー情報・ニュース等をご案内致します！よろしければ、お名前（フリガナ）ご記載のメールを下記当会アドレスまでお送りください。また、ご変更の際はお知らせ頂ければ幸いです。
- ・当会は2004年市民運動「江戸城再建を目指す会（後のNPO法人）」を創立以降12年の運動の集大成として2017年1月に一般財団法人を設立し、現在に至りました。詳細は「市民団体の創立からこれまでに至る主な活動の歩み」をご覧ください。※ご参考「2004年 市民団体の創立からこれまでに至る主な活動の歩み」(<https://zaidan-edojo.or.jp/aboutus/koremade/>)
- *現在のNPO法人「江戸城天守を再建する会」は、天守単体の復元を目指し世論喚起の活動を旨としております。当会の江戸城全体整備構想における事業や運動論とは異なる活動をしておりますので、ご留意頂きますようお願い申し上げます。

【編集後記】

世界は、今、大きな変化の時代を迎えています。新たな価値創造に向けて、歴史文化の視点からの都市再生を考えてみませんか？ (N)

初夏を越えていきなり夏が来たような暑い日が続きます。こまめな水分補給で健康に乗り切りましょう！ (I) ウェブのセミナーを開催しますので、お問い合わせでご参加ください。 (II)

有識者のインタビューを続けます、お楽しみに！！ (U)

お問い合わせ先

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

〒102-0075 東京都千代田区三番町1-16 Eメール: zaidanedojo@gmail.com

ホームページ <https://zaidan-edojo.or.jp/> FAX : 03-3977-3510

※現在、新型コロナウイルス対策のため、テレワークを中心に活動いたしております。ご用の際はEメールもしくは郵便にてご連絡頂ければ幸いです。

近未来の世界遺産を目指す 江戸城・城下町ルネッサンス

ご案内

2022年5月23日

第13号

第13号本誌

- ・理事長ごあいさつ
- ・「江戸城全体整備構想の策定並びに歴史文化資源を活かした観光まちづくり中長期計画」

別冊：特集号VISION 2032に寄せて

「VISION 2032」提言活動へ 歴史文化・水辺の資源を軸にした都市再生

平素より当会の活動にご支援を賜り篤く御礼申し上げます。



東京都ビジョン戦略は2030・2040年に向けて都市部の緑を次々と創出し水辺の豊かさを求めかつての江戸が水と緑の美しさが溢れる世界に誇れる東京を目指そうとしています。玉川上水から外濠への通水とお堀の水質改善、日本橋の首都高の地下化及び水辺を活かしたまちづくり等江戸城跡を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

一方、再開発による神宮の森1000本の木の伐採は、SDGs・自然保護などの危機から市民の反対運動が高まっています。また、歴史遺産・日本最古の鉄道高輪築堤保全を求めるヘリテージアラート(危機遺産警告)がユネスコの諮問機関であるNGO イコモスや日本考古学会から出されています。

このような環境変化の下、特集として「VISIONに寄せて」と題し、有識者の皆様のインタビュー及び執筆を戴いております。是非ご覧ください。

さて、日本最大の城郭都市江戸城江戸城総構え(全容)の完成は、1636年江戸城外堀の完成によるといわれ、それから400年を迎える2036年を目指し、既に千代田区・港区・新宿区の3区により「史跡江戸城外堀の保存管理計画」が策定されています。これは「単に外堀だけではなく江戸城跡との一体性を高めつつ石垣、土塁、城門など見附で守られた大城郭の一画としての復元を目指し歴史的背景と個性ある地域の歴史的環境を保全する計画とし歴史的視点から都市再生を図る契機とすべくこれらの目標達成を目指し将来的には江戸城跡との一体性をより高め巨大城郭としての江戸城復元へとつなげていきたい。」としています。

VISION2032・提言書策定の背景は、財団設立3周年を記念し、江戸東京歴史文化ルネッサンス調査研究委員会・報告書の策定に伴いこれまでの基本計画や運動を再検証して一連の集大成を行ったものです。2022年度は準備期間とし10年計画で取り組みを推進します。

*VISION 2032 PDF (<https://zaidan-edojo.or.jp/uploads/vision2032.pdf>)

本「提言」は、広く社会一般に普及・啓発・提言活動を推進すると共に、東京都知事、千代田区長をはじめとする関連行政、関係者及び関係機関等に「提言」を進めてまいります。この機会を通し多くの皆様からのご意見や支ご援ご協力を戴きますようお願い申し上げます。

2022年(令和4年)5月好日
理事長 小竹 直隆

SDGs持続可能な地球社会 & 近未来の世界遺産を目指し
 「江戸城全体整備構想の策定 並びに 歴史文化資源を活かした観光まちづくり中長期計画」

VISION 2032

東京の文化芸術の振興及び観光振興に寄与し人々の健全で豊かな暮らしに貢献することを目的に提言活動を推進します

歴史文化・水辺の資源を軸にした都市再生



VISION 2032 の課題

1. 歴史まちづくり中長期計画及び江戸城全体構想の策定
2. SDGs観光地域まちづくり法人等を目指す
3. プラットフォーム・歴史文化支援を活かした観光まちづくり
4. 阻害要因・縦割り組織の壁、規制等改革

